

2020年度事業報告書

2021年5月20日

I. 事業の状況

研究成果公開のため、『英文学研究』3冊を予定通り刊行した。巻号および発行日は、和文号第97巻（2020年12月1日）、支部統合号第13巻（2021年1月20日）、English Number 62（2021年3月1日）。総頁数は、和文号178頁、支部統合号290頁、英文号105頁、合計573頁（前年度682頁）である。

英文学、英語学、英語教育に関する研究を普及する事業として、日本英文学会第92回大会を、7月6日（月）～15日（水）にかけ、日本英文学会ウェブサイト（<http://www.elsj.org/>）上に第92回全国大会のコーナーを開設し、7つのシンポジア、1つの特別シンポジウム、32の研究発表、3つの招待発表の原稿・資料に、会員がアクセスできるようにした。質疑応答もウェブ上で行った。当初は2020年5月16日（土）、17日（日）に琉球大学で開催予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、開催形態を変更した。また、この大会における研究発表、シンポジア、特別講演の概要を収めた『第92回大会 Proceedings』を、2020年7月に日本英文学会ウェブサイト上で刊行した。

全国7支部では、2020年度支部大会を各地で開催予定であったが、これも新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、支部ウェブサイト上での開催（北海道支部〔12月5日（土）～14日（月）〕、東北支部〔11月21日（土）～12月4日（金）〕、中部支部〔10月24日（土）～11月8日（日）〕、九州支部〔10月24日（土）～28日（水）〕）、オンライン会議システム（Zoom）を用いたネット配信による開催（関東支部〔11月8日（日）〕、関西支部〔12月20日（日）〕）、2021年度への開催延期（中国四国支部）とそれぞれ変更があった。今年度も『2020年度支部大会資料統合版』を9月に刊行予定であったが、これも新型コロナウイルスの感染拡大の影響により刊行を断念し、支部大会の詳細については各支部のウェブサイトを参照していただくことにした。なお、例年『支部大会資料統合版』に掲載する「ELSJ Newsletter」（今回はNo. 136）については、これだけを独立した冊子として印刷し、9月に会員に郵送した。

加えて、2020年4月24日（土）、日本シェイクスピア協会との共催でシェイクスピア祭をオンラインにて開催した。

以上に関する報告および案内のため、本部および各支部事務局は Newsletter を年2回、発行し、上記のとおり1つは独立した冊子として刊行し（2019年9月15日）、もう1つは『第93回大会資料』（2021年3月10日刊行）に掲載した。なお『第93回大会資料』の総頁数は70頁（前年度72頁）である。

II. 処務の概要

1. 役員などに関する事項

2020年度末現在の役員

役名	氏名	就任年月日	担当職務	手当	現職	備考
会長	原田範行	2019年5月24日	-	なし	慶應義塾大学教授	-
理事	瀬名波栄潤	2019年5月24日	-	なし	北海道大学教授	-

同	大河内昌	2019年5月24日	-	なし	東北大学教授	-
同	原田範行	2019年5月24日	-	なし	慶應義塾大学教授	-
同	阿部公彦	2019年5月24日	-	なし	東京大学教授	-
同	内田恵	2019年5月24日	-	なし	静岡大学教授	-
同	新野緑	2019年5月24日	-	なし	神戸市外国語大学教授	-
同	吉中孝志	2019年5月24日	-	なし	広島大学教授	-
同	大橋浩	2019年5月24日	-	なし	九州大学教授	-
監事	星野立子	2017年5月19日	-	なし	北海道教育大学教授	-
同	斎藤兆史	2017年5月19日	-	なし	東京大学教授	-

2020年度末現在の評議員

役名	氏名	就任年月日	担当職務	手当	現職	備考
評議員	本堂知彦	2017年5月19日	-	なし	北海道教育大学教授	-
同	佐々木和貴	2017年5月19日	-	なし	秋田大学教授	-
同	後藤和彦	2017年5月19日	-	なし	東京大学教授	-
同	滝川睦	2017年5月19日	-	なし	名古屋大学教授	-
同	竹村はるみ	2017年5月19日	-	なし	立命館大学教授	-
同	高口圭轉	2017年5月19日	-	なし	安田女子大学教授	-
同	鶴田学	2017年5月19日	-	なし	福岡大学教授	-

2. 事務局員に関する事項

2020年度末現在

役名	氏名	就任年月日	担当職務	手当	備考
事務局長	武田将明	2020年4月1日	事務一般	給与	-
事務局長補佐	田中裕介	2020年4月1日	事務一般	給与	-
事務局長補佐	川崎明子	2019年4月1日	経理	給与	
大会準備担当書記	牟田有紀子	2020年4月1日	大会準備	給与	-
編集担当書記	市川千恵子	2020年4月1日	編集	給与	-
ウェブマスター	小林広直	2019年4月1日	学会 HP 管理等	謝礼	

3. 役員会等に関する事項

(1) 理事会

開会月日時	議事事項	会議の結果
-------	------	-------

2020年5月25日12時00分から13時00分	1. 2019年度事業報告および決算の承認に関する件 2. 2019年度編集委員会および大会準備委員会の活動報告 3. 第93回全国大会開催校決定の件 4. 第93回全国大会における特別講演・特別シンポジウムの件 5. 第94回全国大会開催支部決定の件 6. 編集委員会における米文学分野の増員について	承認 承認 承認 承認 承認
2021年1月10日13時00分から14時30分	1. 2020年度の事業活動状況報告に関する件 2. 学会の現況と課題確認に関する件 3. 理事会申し合わせ事項に関する件	承認 承認 承認
2021年3月22日15時00分から16時00分	1. 2021年度事業計画の承認に関する件 2. 2021年度収支予算の承認に関する件 3. 2021年度事務局体制に関する件 4. 英文学会事務局職員給与に関する件 5. 障がいのある登壇者へのサポートに関する件 6. 支部統合号の著作権に関する件 7. 日本学術振興会等の推薦に関する件	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認

(2) 評議員会

開会月日時	議事事項	会議の結果
2020年5月28日16時30分から17時00分	1. 2019年度事業報告および決算の承認に関する件	承認
2021年3月25日15時00分から16時00分	1. 2021年度事業計画の承認に関する件 2. 2021年度収支予算の承認に関する件 3. 2021年度事務局体制に関する件 4. 英文学会事務局職員給与に関する件 5. 障がいのある登壇者へのサポートに関する件 6. 支部統合号の著作権に関する件 7. 日本学術振興会等の推薦に関する件	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認

4. 許可、認可、承認、証明などに関する事項

申請月日	申請事項	許可等月日	備考
なし			

5. 契約に関する事項

契約月日	相手方	契約の概要
なし		

6. 寄付金に関する事項

寄付の目的	寄付者	申込金額	領収金額	備考
なし				-

7. 主務官庁指示に関する事項

指示年月日	指示事項	履行状況
なし		

8. その他重要事項

特になし

9. 会員数（2021年3月末現在）

個人会員	2,811名（うち終身会員99名）	（前年度末2,897名）	86名減
協賛会員	36名	（前年度末36名）	増減なし
総計	2,847名	（前年度末2,933名）	86名減

2020年度編集委員会活動報告

(1) 委員会開催日

通常委員会（オンライン会議）：2020年5月15日、6月13日、10月17日

(2) 人事

1. 阿部曜子、佐藤光、田中孝信、松村伸一（イギリス文学分野）、諏訪部浩一、三宅昭良（アメリカ文学分野）、澤田真由美、中村太一、本間猛（英語学分野）、以上9氏が、2021年3月末日をもってすべての任期が満了となった。後任10名（2020年度第1回編集委員会においてアメリカ文学分野の委員1名の増員が決定した）の新委員を選出するため、第3回編集委員会にて選挙を行い、就任の依頼を行った。その結果、池田寛子、高橋勇、松本靖彦、横山千晶（イギリス文学分野）、新田啓子、森慎一郎、山内功一郎（アメリカ文学分野）、梶本顕士、三浦あゆみ、山本武史（英語学分野）の10氏の承諾を得た。新委員の任期は2021年4月1日より3年間である。

2. 2021年度 委員長：秦邦生（イギリス文学分野）

副委員長：片山亜紀（イギリス文学分野）

難波江仁美（アメリカ文学分野）

金澤俊吾（英語学分野）

(3) 『英文学研究』発行状況

第97巻	(2020年12月1日発行)	178ページ
英文号62(2021)	(2021年3月1日発行)	105ページ
総ページ数		283ページ
		(前年度358ページ、前々年度332ページ)

(4) 2020年度『英文学研究』論文審査の状況（2019年10月15日～2020年10月14日受理分）

	投稿論文数	採用	不採用	審査中
英文学	8(2-6)	0(0-0)	8(2-6)	0(0-0)
米文学	21(9-12)	3(1-2)	18(8-10)	0(0-0)

英語学	1(1-0)	0(0-0)	1(1-0)	0(0-0)
計	30(12-18)	3(1-2)	27(11-16)	0(0-0)
和文の割合	40%	33%		

カッコは和文—英文比

(参考)

2019年度『英文学研究』論文審査の状況（2018年10月15日～2019年10月14日受理分）

	投稿論文数	採用	不採用	審査中
英文学	15(5-10)	2(1-1)	13(4-9)	0(0-0)
米文学	17(7-10)	2(0-2)*	16(7-9)	0(0-0)
英語学	4(2-2)	2(0-2)	2(2-0)	0(0-0)
計	36(14-22)	6(1-5)	31(13-18)	0(0-0)
和文の割合	38%	16%		

カッコは和文—英文比

*採用された英語論文のうち1編は、2018年度に審査の結果採用の決定がなされたものの、連絡事故のために2018年度の『英文学研究』に掲載漏れとなり、2019年度の『英文学研究』に収録されたもの。投稿論文数より採用・不採用の論文数が1つ多いのはそのためである。

2018年度『英文学研究』論文審査の状況（2017年10月15日～2018年10月14日受理分）

	投稿論文数	採用	不採用	審査中
英文学	14(8-6)	4(2-2)	10(6-4)	0(0-0)
米文学	13(6-7)	1(1-0)*	11(5-6)	0(0-0)
英語学	5(2-3)	2(1-1)	3(1-2)	0(0-0)
計	32(16-16)	7(4-3)	24(12-12)	0(0-0)
和文の割合	50%	57%		

カッコは和文—英文比

*審査の結果採用の決定がなされたものの、連絡事故のために2018年度の『英文学研究』に掲載漏れとなった英文投稿論文1編があるため、投稿論文数よりも採用・不採用の論文数が1つ少なくなっている。

2017年度『英文学研究』論文審査の状況（2016年10月15日～2017年10月14日受理分）

	投稿論文数	採用	不採用	審査中
英文学	18(9-9)	3(1-2)	15(8-7)	0(0-0)
米文学	15(2-13)	0(0-0)	15(2-13)	0(0-0)
英語学	2(0-2)	0(0-0)	2(0-2)	0(0-0)
計	35(11-24)	3(1-2)	32(10-22)	0(0-0)
和文の割合	31%	33%		

カッコは和文—英文比

(5) 第43回日本英文学会新人賞の審査結果

応募論文総数：英文学0編 米文学3編 英語学0編 計3編

(前年度比3編減)

第1次審査通過論文数：0編

受賞論文：該当論文なし

佳作論文：該当論文なし

(6) 2020年度『英文学研究』書評掲載状況

	寄稿書評数	採用	不採用	審査中
英文学	12(9-3)	12(9-3)	0-0	0(0-0)
米文学	17(14-3)	17(14-3)	0-0	0(0-0)
英/米文学	0(0-0)	0(0-0)	0-0	0(0-0)
英語学	5(4-1)	5(4-1)	0-0	0(0-0)
計	34(27-7)	34(27-7)	0-0	0(0-0)
和文執筆の割合	59%(20/34)	59%(20/34)		
和文号書評に占める英文書評の割合	26%(7/27)	26%(7/27)		

カッコ内は和文号—英文号比

(参考)

2019年度『英文学研究』書評掲載状況

	寄稿書評数	採用	不採用	審査中
英文学	12(10-2)	12(10-2)	0-0	0(0-0)
米文学	16(12-4)	14(12-2)	0-0	2(0-2)*
英/米文学	0(0-0)	0(0-0)	0-0	0(0-0)
英語学	10(8-2)	10(8-2)	0-0	0(0-0)
計	38(30-8)	36(30-6)	0-0	0(0-0)
和文執筆の割合	65%(25/38)	69%(25/36)		
和文号書評に占める英文書評の割合	16%(5/30)	16%(5/30)		

カッコ内は和文号—英文号比 *保留となり、次号以降に再投稿を促された書評二編を含む

以上

2020年度大会準備委員会活動報告

1. 2020年5月7日(木)から5月14日(木) 後任選挙オンライン投票期間

2020年5月15日(金) 開票作業ならびに結果報告

任期満了委員の後任選挙結果

英文学分野(不破有理委員の後任)

小林宜子氏(東京大学)

英文学分野(西川健誠委員の後任)

笹川渉氏(青山学院大学)

米文学分野(橋本安央委員の後任)

中村善雄氏(京都女子大学)

英語学分野(西田光一委員の後任)

吉田幸治氏(近畿大学)

英語学分野(吉川史子委員の後任)

大野英志氏(広島大学)

2. 2020年6月27日（土） 第93回大会第1回準備委員会

[Zoomを使ったオンライン会議]

(ウェブカンファレンスが7月に開催のため、例年行っている前回大会の総括は割愛。)

- 1) 新委員長紹介 藤巻明委員が新委員長に就任
- 2) 新任大会準備委員紹介
- 3) 副委員長選挙 金山亮太委員を副委員長に選出
- 4) 第93回大会の準備、シンポジウム企画、招待発表、特別シンポジウムについて検討
- 5) 発表応募数増加のための施策案
- 6) 大会研究発表応募規定の改定について
- 7) その他

3. 2020年7月6日（月）から15日（水） 第92回ウェブカンファレンスの開催

2020年5月16日（土）・17日（日）に琉球大学で開催予定だった第92回大会が、COVID-19の影響で、2020年7月6日（月）から15日（水）まで学会ウェブサイトにて発表資料を掲載し、専用フォームを通して質疑応答を受け付ける形のウェブカンファレンスとして開催された。

ウェブカンファレンス閲覧のためのアカウント登録数

会員 453名 当日会員 32名 合計 485名

4. 2020年9月11日（金）から9月21日（月） 第93回大会仮想大会準備委員会

- 1) シンポジウム企画および部屋割りの決定
- 2) 招待発表講師の決定
- 3) 第93回大会登壇者への依頼状の確認
- 4) 査読日程の決定

5. 2020年11月28日（土） 第93回大会第2回準備委員会

[Zoomを使ったオンライン会議]

- 1) 仮想大会準備委員会における審議にて決定したシンポジウム、招待発表者の確認
- 2) 特別シンポジウムの確認
- 3) 第93回大会オンライン化の可能性について
- 4) 第93回全国大会研究発表応募論文の審査と審議
- 5) 研究発表者の組み合わせと司会者、担当委員の審議
- 6) 研究発表・シンポジウム各部屋担当者の決定
- 7) 部屋割りの決定
- 8) 全国大会応募規定について
- 9) 発表応募者数の減少への対応
- 10) その他

6. 2021年4月13日（火） 第93回大会のオンライン開催決定の公示

早稲田大学で対面開催予定だった第93回大会は、COVID-19による2回目の緊急事態宣言が3月21日で解除されたことを受けて、4月初めの理事会において、対面開催とオンライン配信を同時に行うハイブリッド形式を採用することに決定し、2021年4月7日（水）に学会ウェブサイトで発表した。しかし、その後再び新型コロナ感染状況が悪化し、早稲田大学からの対面開催断念要請もあったため、Zoomを用いたオンライン大会として開催することとなった。これを2021年4月13日（火）にウェブサイトを通じて会員に公示した。

過去5年間の研究発表応募採択状況

(複数人による共同発表者は1名と計算。カッコ内の数字は招待発表を合わせたもの。81回大会分以降は、カリブ海文学、カナダ文学、アイルランド・日本の比較文学についての研究発表の応募を広域英語圏文学として分類した。)

採択数／応募数

	93回大会 早稲田大学 <small>COVID-19の影響により オンライン大会として開催</small>	92回大会 琉球大学 <small>COVID-19の影響によりウェブ カンファレンスとして開催</small>	91回大会 安田女子大学	90回大会 東京女子大学	89回大会 静岡大学
英文学 [古英語・ 中世は内数]	12(17)/14(19) [古英語1(0)/1(0)] [中世1(2)/1(2)]	17(22)/21(26) [中世0(1)/0(1)]	9(14)/14(19) [中世0(1)/0(1)]	17(22)/25(30) [中世2(3)/2(3)]	14(19)/16(21) [中世1(2)/1(2)]
米文学	5(6)/5(6)	5(6)/5(6)	6(7)/8(9)	9(10)/15(16)	7(8)/12(13)
広域英語圏文学	0/0	1/2	0/0	0/0	2/2
英語学	4(5)/4(5)	6(7)/8(9)	5(6)/6(7)	2(3)/4(5)	2(3)/2(3)
英語教育学	0(1)/1(2)	3(4)/3(4)	1(2)/1(2)	4(5)/4(5)	3(4)/3(4)
計	21(29)/24(32)	32(40)/39(47)	21(29)/29(37)	32(40)/48(56)	28(36)/35(43)

大会準備委員 (五十音順)

麻 生 えりか	大 野 英 志	金 山 亮 太	菅 野 悟
小 林 宜 子	米 谷 郁 子	齋 藤 安以子	笹 川 渉
高 橋 美 帆	中 島 渉	中 村 善 雄	深 谷 素 子
藤 卷 明	宮 原 一 成	柳 朋 宏	山 本 裕 子
吉 田 幸 治			

開催校委員 (五十音順)

小田島 恒 志	木 村 晶 子	都 甲 幸 治	冬 木 ひろみ
堀 内 正 規	皆 本 智 美	本 山 哲 人	山 内 功一郎

支部委員 (関東支部・五十音順)

阿 部 公 彦 (東京大学)	奥 聡一郎 (関東学院大学)
侘 美 真 理 (東京藝術大学)	竹 内 理 矢 (明治大学)
吉 野 由 起 (東京女子大学)	

以上

2020 年度事業報告附属明細書

該当事項なし。